

新旧首相の主導権争いはコンテ首相に軍配

～内閣信任投票で再任される可能性が高まる～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理 (TEL:03-5221-4527)

◇ レンツィ元首相が率いる小政党が連立を離脱したイタリアでは、コンテ首相が近く進退をかけて内閣信任投票に臨む。連立政権の中核を占める五つ星運動や民主党はコンテ首相支持で団結。五つ星運動の離党議員や無所属議員が新たに連立支持に周り、コンテ首相が再任される可能性が高い。連立政権内での影響力拡大とコンテ首相の退陣を目指したレンツィ元首相の政変は失敗に終わるとみられる。大統領選挙の日程もあり、年内の解散・総選挙の可能性が遠退く。

14日付けレポート「[イタリア政局の2つのシナリオ](#)」では、レンツィ元首相が率いる小政党イタリア・ビバの連立離脱で上下両院の安定過半数の確保が難しくなったことを受け、コンテ首相が辞任に追い込まれる可能性が高まっていると指摘した。だが、連立政権の中核を担う五つ星運動と民主党は今回のイタリア・ビバの動きを無責任と非難し、コンテ首相を支えることで団結している。五つ星運動の離党議員や独立派議員の一部が新たに政権支持に回ることで、どうにか両院の過半数を確保しそうな情勢だ。コンテ首相は内閣総辞職するのではなく、自身の進退をかけて内閣信任投票に臨むことを決断した。コロナ危機対応の重要法案審議を優先する可能性もあるが、18日にも下院で、19日に上院で信任投票が行われるとの観測も浮上している。

イタリア・ビバの所属議員がコンテ首相不支持に回る場合、上院では議会の過半数の確保が難しくなる。だが、イタリア紙によれば、五つ星運動の離党議員、独立派議員など、10名余りが新たに政権支持に回るとみられている。レンツィ氏と距離を置くイタリア・ビバの一部議員や、ベルルスコーニ元首相が率いる中道右派政党フォルツァ・イタリアの一部議員が政権支持に回るとの観測もある。議会の解散権を持つマッタレッラ大統領は、コロナ禍が襲うなかでの政権崩壊や解散・総選挙に否定的とされるが、上下両院で安定過半数の支持が得られる政権発足を求めている。新たに政権を支持する議員が統一会派を結成する可能性も取り沙汰されている。

こうしてみると、連立政権内での影響力拡大とコンテ首相の退陣を目指したレンツィ元首相の目論みは失敗に終わる可能性が高まっている。支持率が低迷するイタリア・ビバも連立離脱で早期の解散・総選挙を望んでいる訳ではない。昨年9月の国民投票で議員定数の削減が確定し、支持率で劣勢にある与党議員の多くも早期の解散・総選挙を回避したい。コンテ政権は上下両院で改めて信任されるとみられ、来年2月の大統領任期までの半年間、議会の解散権が制限されることを踏まえれば、年内の解散・総選挙の可能性は遠退きそうだ。

万が一、内閣信任投票が不信任の結果に終わる場合も、マッタレウラ大統領はすぐさま議会の解散・総選挙に踏み切るのではなく、まずは上下両院の安定多数を確保可能な首相と連立の組み合わせを模索することが予想される。数の上では、連立を離脱したイタリア・ビバと野党勢が総結集することで過半数を確保することもできるが、イタリア・ビバが右派ポピュリスト政党の同盟やイタリアの同胞と手を組む可能性はさすがに低い。この場合、コンテ首相に代わる首相を擁立し、これまで同様に五つ星運動と民主党が核となり、イタリア・ビバなどの小政党がこれを支える新たな連立政権を発足する可能性が出てくる。ただ、今回の政変を受けて、五つ星運動や民主党はイタリア・ビバとの連立再結成を否定している。新たな連立政権の発足が難しい場合に初めて、大統領は議会の解散・総選挙を選択することになるだろう。

以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

